

釘崎古墳群

福岡県八女市大字豊福所在釘崎2号古墳の調査

八女市文化財調査報告書 第24集



1992

八女市教育委員会

序

八女丘陵の古墳群として、岩戸山古墳、乗場古墳など大型の前方後円墳は、国の史跡として整備されておりますが、八女市豊福にある釘崎古墳群は未指定古墳群の一つです。

今回の発掘調査は、釘崎古墳群の内、2号古墳を対象として、将来の環境整備に備えて確認調査を実施したものです。

調査の実施にあたり、御協力いただきました地権者の近藤常男、秋山九州男、樋口清美各氏をはじめ、地元の方々に謝意を表します。

なお、本書が今後の研究の資料として活用いただければ幸いです。

平成4年3月31日

八女市教育委員会
教育長 坂田 不二夫

例 言

1. 本書は、八女市が国、県の補助を受けて実施した八女市大字豊福所在、釘崎2号古墳の範囲確認の調査報告書である。
2. 発掘調査は八女市教育委員会が実施した。
3. 出土遺物の整理は岩戸山歴史資料館（館長 溝田信夫）で行った。掲載した写真のうち航空写真は八女市撮影のものを使用した。また、遺構写真は中川寿賀子が撮影した。
4. 遺構の実測は中川が中心となっており、墳丘測量図については昭和55年福岡県教育委員会が中心となっており作成した図を用い、トレンチ部分を加筆した。
5. 本書の執筆は文末に示すとおりである。

目 次

I はじめに	1
II 位置と環境	1
III 調査の概要	3

I はじめに

釘崎古墳群は八女市大字豊福字釘崎・久保・長原に所在する古墳群で、前方後円墳4基、円墳8基からなっている。釘崎古墳群について、これまで発掘調査は行っていないが、昭和45年釘崎3号古墳が削平された際、石室から多量の遺物が出土しており、その結果はすでに報告されている。昭和55年には、福岡県教育委員会が中心となって前方後円墳を中心として測量調査が行われ、1号、2号古墳の墳丘測量図が作成されている。

今回の調査は、平成4年3月23日から3月31日まで実施し、主に古墳周辺にトレンチを設定して、墳丘規模や周溝規模の把握を中心とした。なお、墳丘周囲が梨園のため、トレンチの設定によって十分な調査ができなかった部分もあった。

調査関係者は次のとおりである。

八女市教育委員会 教 育 長 坂田不二夫
教 育 部 長 松延 繁太
社会教育課長 大月 重信 同 係 長 下川文比古
社会教育係 平島 芳子、井上 富雄、井手 勇一
(文化財担当) 赤崎 敏男、大塚 恵治
嘱 託 中川寿賀子(調査担当)

なお、調査にあたって、福岡県教育庁南筑後教育事務所技術主査 佐々木隆彦氏、地権者の近藤常男、秋山九州男、樋口清美各氏をはじめ、地元町内会の皆様には、御協力をいただきました。記してお礼申し上げます。(赤崎)

II 位置と環境

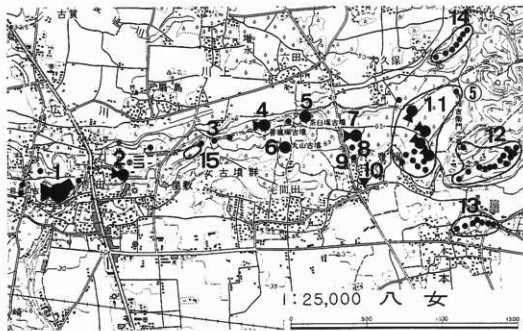
釘崎古墳群は岩戸山古墳より東方約2kmの標高60m前後の八女丘陵上にあり、前方後円墳4基、円墳8基からなる古墳群である。

前方後円墳である1号と2号は50m程の所に近接してつくられ、主軸もほぼ同じ方向で前方部をほぼ北側に向ける。

2号の北側約100mの所に4号があり、周囲を畑で削平されているが、かろうじて前方後円墳の姿をとどめている。主軸はほぼ東-西に近く、前方部を東に向ける。3号は4号の北側約100mの所にあり、すでに削平を受けている。昭和45年の調査時は、主軸は南-北で、前方部を南に向けていて、主体部は後円部にあり、西側に開口する横穴式石室であつたらしい。

8基の円墳は主に1、2号の周辺に集中しており、周囲を大きく削平されているものが多い。

(赤崎)



1. 岩戸山古墳 2. 乗場古墳 3. 宅間田古墳群 4. 善蔵塚古墳 5. 茶臼塚古墳
 6. 丸山塚古墳 7. 鶴見山古墳 8. 鶴見山南古墳 9. 大神宮古墳 10. 豊福石人
 11. 釘崎古墳群 12. 鹿子島山古墳群 13. 本古墳群 14. 堂願山古墳群 15. 吉田辻の西遺跡
 ⑤. 釘崎5号古墳 (方形、円形環溝墓)

第1図 釘崎古墳群と周辺の古墳群 (1/25,000)



第2図 釘崎古墳群位置図 (1/5,000)

Ⅲ 調査の概要

今回調査を実施した釘崎2号古墳は墳頂部で標高67.47mをはかる。現況では墳丘上は竹材等であるが、全体の形は良く残っており、墳頂部に陥没等もみられない。

墳丘測量の結果、全長約47m、後円部径約27m、高さ約5m、前方部幅約28m、高さ約3.3mをはかり、前方部、後円部で2段の痕跡が残っている。

今回の調査は墳丘や周溝の確認を目的としたため、後円部に1・2トレンチ、東側くびれ部に3・4・5トレンチ、前方部に6・7トレンチの計7本のトレンチを設定して調査を実施したが、梨園のため、木の間にトレンチを設定したり、作物のため十分な場所にトレンチを設定できなかったが、ほぼ墳丘と周溝の概要をつかむことができた。ただ、墳丘西側は梨園のため調査はできなかった。

1 トレンチ

後円部の南側に設定した。現地表下40cmの所で幅4mの周溝を確認、掘り下げたところ、周溝底より、円筒埴輪片が円礫と伴に出土した。

2 トレンチ

1トレンチの東15mの所に設定した。幅4mの周溝を確認。周溝底より円礫に混じて円筒埴輪片、形象埴輪片（盾？）須恵器甕片が出土した。



第3図 釘崎2号古墳全景（東より）



第5図 2トレンチ

第6図 3トレンチ
埴輪出土状態

3トレンチ

東側のくびれ部分に設定した。幅約5mの周溝を確認したが、東側部分が攪乱を受けていたため不明瞭である。周溝底より円礫と伴に円筒埴輪片、須恵器壺片が出土した。

4トレンチ

前方面東側に設定した。上部は攪乱が著しく、周溝幅は不明であるが、周溝底部分より、円礫と円筒埴輪片が出土。

5トレンチ

4トレンチの横に設定した。攪乱が著しく遺構は確認できなかった。

6トレンチ

前方面の北側で作物の間に設定した。周溝外側の立ち上がり部分を確認した。周溝底より円筒埴輪片出土。

7トレンチ

前方面北側に設定した。周溝は検出されなかった。(中川)

釘崎古墳群

八女市文化財調査報告書
第24集

平成4年3月31日

発行 八女市教育委員会
福岡県八女市大字本町647番地
印刷 アオヤギ株式会社
福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-39
電話 092(641)1431